

中国地方最大級のポンプ水車・発電電動機向けポンプを受注

中国電力株式会社 南原発電所の主要ポンプを更新

南原発電所は、広島県西部を流れる太田川の支流・南原川につくられた、上池と下池の二つのダムの落差約300mを利用する水力発電所です。中国電力株式会社が所有している水力発電所は中国地方5県で90ヶ所あり、そのなかでも南原発電所は最大級の出力(31万kW×2台)を有する大きな発電所です。その出力は2台合計最大62万kWで、年間発電電力量は一般家庭約37万2千世帯の年間使用電力量に相当します。

本発電所は揚水式の発電所であり、電気の消費が少ない時間帯に余剰電力を使用して下池から上池に水を汲み上げておき(揚水運転)、電気の消費が最も多い時間帯に上池から下池に水を落水させ発電します(発電運転)。水力発電は再生可能エネルギーの一つであり、発電時にCO₂を排出しないクリーンエネルギーですが、そのなかでも揚水式は天候に左右されず発電可能であるメリットがあります。

今回、本発電所の重要機器の一つとなる給水ポンプを受注しました。用途は、ポンプ水車や発電電動機の軸受などに冷却水を供給するもので、発電・揚水運転に必要な不可欠な機器となります。当社製ポンプの高い性能と品質を評価いただいたの採用となりました。これからもお客様の期待に応えられるよう、高品質な製品やサービスの提供を通して、安定した発電運営に貢献していきます。



ポンプ名称	1号主給水ポンプ
口径・形式	CDM350
台数	1台
原動機容量	340 kW